

1年教科書 解答

1章 『正の数・負の数』

(P.10~P.55 プリントNO.1~12)

NO. 1 1年 教科書 解答

P. 12

① (1) -3°C (2) -2.5°C

② 旭川 -4.8°C 札幌 -4.3°C
 釧路 -4°C 青森 -1°C

P. 13

③ (1) -12 (2) $+9$

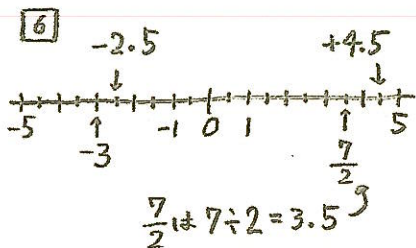
(3) $+1.5$ (4) $-\frac{2}{3}$

④ 整数 $-5, -6, 4, 0, +12$

自然数 $4, +12$

P. 14

⑤ A -4
 B -1.5
 C 0.5



数字をならべて書くときは、「,」「/」と書くように気を付ける。
 2, 4, 5, 8 のように。
 もし、気にせず
 1.2 と書くと
 小数の1.2 か
 1と2なのかかわからない。

練習問題

① (1) $+18$ (2) -36
 (3) $+\frac{1}{3}$ (4) -0.8

② 負の数 $-3.2, -10, -\frac{5}{6}, -1, -0.1$
 自然数 $+9, 6$

P. 15

① 利益を+で表すから、損失は-になる。
 だから -500 円

② ~後を+で表すから、~前は-になる。
 だから -50 分
 (-50 分前とは×)

P. 16

	月	火	水	木	金
③ 貸出した本の冊数	135	112	118	133	157
目標との違い	+5	-18	-12	+3	+27

④ (1) 4個少ない
 符号を逆 ↓ ↓ 逆の意味
-4個多い 同一意味

(2) 6cm 短い ↓ ↓
-6cm 長い
 (3) 3kg 軽い ↓ ↓
-3kg 重い
 (4) 10円足りない ↓ ↓
-10円余る

P. 17

① (1) -5 の絶対値は5, 符号を変え数は $+5$
 (2) $+8$ " 8, " -8
 (3) -3.5 " 3.5, " $+3.5$
 (4) $\frac{3}{4}$ " $\frac{3}{4}$, " $-\frac{3}{4}$

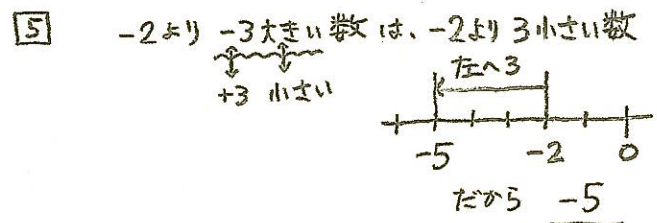
P. 18

② (1) 大きい数は3 絶対値が大きい数は-4
 (2) " -2 " -5

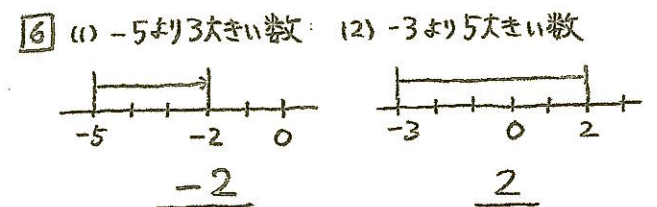
③ (1) $4 < 5$ (2) $-3 > -7$
 (3) $-1.6 < -0.6$ (4) $-\frac{3}{8} > -\frac{5}{8}$

($-3 > -5$ だから
 分母が同じなので
 $-\frac{3}{8}$ の方が大きい)

P. 19



P. 20

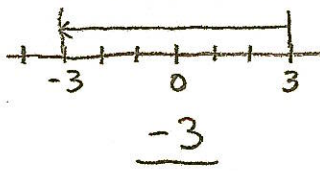


NO. 2 1年教科書 解答

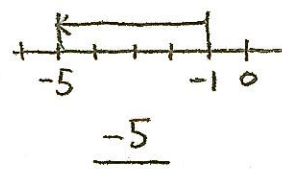
P. 20 つづき

⑥ つづき

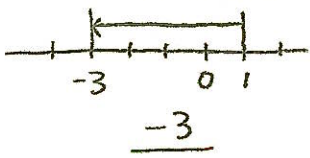
(3) 3より6小さい数



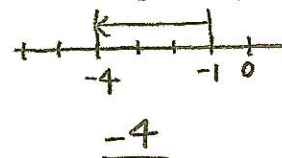
(4) -1より4小さい数



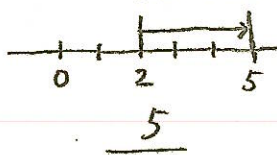
(5) 1より-4大きい数
4小さい数



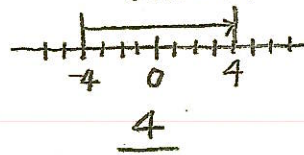
(6) -1より-3大きい数
3小さい数



(7) 2より-3小さい数
3大きい数



(8) -4より-8小さい数
8大きい数



練習問題

① 絶対値が2以下の整数

2以下は、2も入るから

絶対値が0, 1, 2の整数になる。

-2, -1, 0, 1, 2

② 絶対値が2以上5未満の整数

5未満は、5を入れないから

絶対値が2, 3, 4の整数になる。

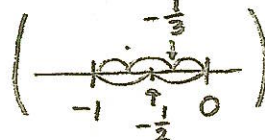
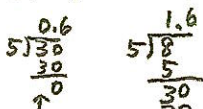
ならべて書くと -4, -3, -2, 2, 3, 4だから

6個

③ (1) $-0.01 > -0.1$ (2) $-\frac{1}{2} < -\frac{1}{3}$

-0.5 -0.333...

(3) $-1 < -0.6$



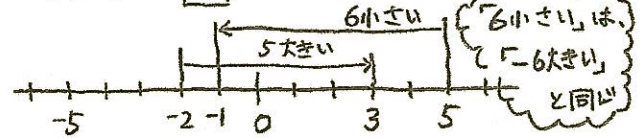
④ $\frac{3}{5}$ は0.6 $-\frac{8}{5}$ は-1.6だから

小さい順 $-\frac{8}{5}, -1.2, -0.5, 0, 0.2, \frac{3}{5}$

絶対値の小さい順 $0, 0.2, -0.5, \frac{3}{5}, -1.2, -\frac{8}{5}$

⑤ (1) -2より5大きい数は 3 である。

(2) 5より -6 大きい数は -1 である。



P. 24

① (1) $(-8) + (-3)$
 $= -(8+3)$
 $= -11$

(2) $(-6) + (-10)$
 $= -(6+10)$
 $= -16$

(3) $(-27) + (-34)$
 $= -(27+34)$
 $= -61$

(4) $(-12) + (-12)$
 $= -(12+12)$
 $= -24$

② (1) $(-7) + (+18)$
 $= +(18-7)$
 $= +11$

(2) $(+5) + (-9)$
 $= -(9-5)$
 $= -4$

(3) $(+21) + (-26)$
 $= -(26-21)$
 $= -5$

(4) $(-38) + (+35)$
 $= -(38-35)$
 $= -3$

(5) $(-49) + (+49)$
 $= 49-49$
 $= 0$

(6) $0 + (-37)$
 $= -37$

P. 25

③ (1) $(+8) + (-4)$
 $= +(8-4)$
 $= +4$

(2) $(-4) + (-6)$
 $= -(4+6)$
 $= -10$

(3) $(-5) + (-5)$
 $= -(5+5)$
 $= -10$

(4) $(-9) + (+9)$
 $= 9-9$
 $= 0$

(5) $(-7) + (+9)$
 $= +(9-7)$
 $= +2$

(6) $(+4) + (-10)$
 $= -(10-4)$
 $= -6$

④ (1) $(-0.4) + (-0.3)$
 $= -(0.4+0.3)$
 $= -0.7$

(2) $(+5.3) + (-2.3)$
 $= +(5.3-2.3)$
 $= +3$

(3) $(-\frac{3}{7}) + (+\frac{2}{7})$
 $= -(\frac{3}{7}-\frac{2}{7})$
 $= -\frac{1}{7}$

(4) $(-\frac{4}{5}) + (-\frac{1}{5})$
 $= -(\frac{4}{5}+\frac{1}{5})$
 $= -\frac{5}{5} = -1$

(5) $(-\frac{1}{3}) + (-\frac{1}{4})$
 $= -(\frac{4}{12}+\frac{3}{12}) = -\frac{7}{12}$

(6) $(+\frac{1}{6}) + (-\frac{3}{10})$
 $= -(\frac{5}{30}-\frac{9}{30})$
 $= -\frac{4}{30} = -\frac{2}{15}$

NO. 3 1年 教科書 解答

P. 27

5 (1) $(+6) - (-2)$
 $= (+6) + (+2)$
 $= +(6+2)$
 $= +8$

(2) $(-9) - (+4)$
 $= (-9) + (-4)$
 $= -(9+4)$
 $= -13$

(3) $0 - (-7)$
 $= 0 + (+7)$
 $= +7$

(4) $(-5) - (-5)$
 $= (-5) + (+5)$
 $= 5-5$
 $= 0$

(5) $(-27) - (-12)$
 $= (-27) + (+12)$
 $= -(27-12)$
 $= -15$

(6) $(-17) - (+54)$
 $= (-17) + (-54)$
 $= -(17+54)$
 $= -71$

6 (1) $(-1.6) - (+0.6)$
 $= (-1.6) + (-0.6)$
 $= -(1.6+0.6)$
 $= -2.2$

(2) $(+3.5) - (-2.3)$
 $= (+3.5) + (+2.3)$
 $= +(3.5+2.3)$
 $= +5.8$

(3) $(-\frac{1}{8}) - (-\frac{5}{6})$
 $= (-\frac{1}{8}) + (+\frac{5}{6})$
 $= +(\frac{5}{6} - \frac{1}{8})$
 $= +\frac{20}{24} - \frac{3}{24} = +\frac{17}{24}$

(4) $(+\frac{1}{2}) - (-\frac{1}{3})$
 $= (+\frac{1}{2}) + (+\frac{1}{3})$
 $= +(\frac{3}{6} + \frac{2}{6})$
 $= +\frac{5}{6}$

7 (1) $7 + (-9)$
 $= -(9-7)$
 $= -2$

(2) $-2 + 6$
 $= 6-2$
 $= 4$

(3) $-8 + 8$
 $= 8-8$
 $= 0$

P. 28

8 (1) $6-9$
 $= -(9-6)$
 $= -3$

(2) $8 - (-4)$
 $= 8+4$
 $= 12$

(3) $-15-8$
 $= -(15+8)$
 $= -23$

P. 29

9 $\{3 + (-4)\} + (-5)$
 $= (-1) + (-5)$
 $= -6$

$3 + \{(-4) + (-5)\}$
 $= 3 + (-9)$
 $= -6$

だから等しい

10 (1) $3-9-6$
 $= 3-15$
 $= -12$

(2) $-12+8-(-14)$
 $= -12+8+14$
 $= -12+22$
 $= 10$

(3) $6-10+(-15)$
 $= 6-10-15$
 $= 6-25$
 $= -19$

(4) $1-2+3-4$
 $= 1+3-2-4$
 $= 4-6$
 $= -2$

$+(□)$
 や
 $-(+□)$
 は
 $-□$

 $+(+□)$
 や
 $-(-□)$
 は
 $+□$

10 (5) $-8-4+(-1)-(-7)$
 $= -8-4-1+7$
 $= -13+7$
 $= -6$

(6) $-24-(-15)+(-35)+24$
 $= -24+15-35+24$
 $= -24-35+15+24$
 $= -59+39$
 $= -20$

または、
 $3-3=0$ や $-2+2=0$
 のように 0 になるとこに目を
 つけると
 $-24-(-15)+(-35)+24$
 $= -24+15-35+24$
 $= 15-35$
 $= -20$

あつ()のない式にする
 $-24+24=0$ だから、何

こんな見方・考え方も、便利!!

$5+2=7$ $5-2=3$ は迷わない
 けれど
 $-5-2$ や $-2+5$ になると...
 $-5-2=-3?$ $-2+5=-7?$

イメージは、あわせる(たす)

● $5+2$ を $\begin{matrix} \textcircled{+5} \\ \text{男子} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \textcircled{+2} \\ \text{男子} \end{matrix}$ と見て、男子5人と男子2人
 と考えると
 あわせて 男子7人
 $5+2=7$ ← だから $+7$

● $-5-2$ は $\begin{matrix} \triangle -5 \\ \text{女子} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \triangle -2 \\ \text{女子} \end{matrix}$ と見て、女子5人と女子2人
 と考えると
 あわせて 女子7人
 $-5-2=-7$ ← だから -7
 $(-5-2) \neq -3$

イメージは、ちがいを(たす)

● $5-2$ を $\begin{matrix} \textcircled{+5} \\ \text{男子} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \triangle -2 \\ \text{女子} \end{matrix}$ と見て、男子5人と女子2人
 と考えると
 男のちがいは
 男子が3人多い
 $5-2=3$ ← だから $+3$

● $-2+5$ は $\begin{matrix} \triangle -2 \\ \text{女子} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \textcircled{+5} \\ \text{男子} \end{matrix}$ と見て、女子2人と男子5人
 と考えると
 男子が3人多いから
 $-2+5=3$ ← $+3$

● $-5+2$ は $\begin{matrix} \triangle -5 \\ \text{女子} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \textcircled{+2} \\ \text{男子} \end{matrix}$ と見て、女子5人と男子2人
 と考えると
 女子が3人多いから
 $-5+2=-3$ ← -3
 $(-5+2) \neq -7$

NO. 4 1年 教科書 解答

P. 30 練習問題

① (1) $(+32) - (+47)$
 $= (+32) + (-47)$
 $= -(47-32)$
 $= -15$

(2) $(-14) + (+22)$
 $= +(22-14)$
 $= +8$

たし算の形
に12, 7uは
書く方法

(3) $(-28) + (-72)$
 $= -(28+72)$
 $= -100$

(4) $(+47) - (+32)$
 $= (+47) + (-32)$
 $= +(47-32)$
 $= +15$

はじめの
うちは、
この形でも

(5) $(-36) - (-18)$
 $= (-36) + (+18)$
 $= -(36-18)$
 $= -18$

(6) $(-35) + (+35)$
 $= 35-35$
 $= 0$

いっけと、
書くのが
大変

(7) $(-3.3) + (-4.7)$
 $= -(3.3+4.7)$
 $= -8$

(8) $(-3.9) - (-6.4)$
 $= (-3.9) + (+6.4)$
 $= +(6.4-3.9)$
 $= +2.5$

(9) $(-1.2) - (+1.2)$
 $= (-1.2) + (-1.2)$
 $= -(1.2+1.2)$
 $= -2.4$

(10) $(-\frac{7}{9}) + (-\frac{5}{9})$
 $= -(\frac{7}{9} + \frac{5}{9})$
 $= -\frac{12}{9} = -\frac{4}{3}$

(11) $(+\frac{4}{5}) + (-\frac{3}{2})$
 $= (+\frac{8}{10}) + (-\frac{15}{10})$
 $= -(\frac{15}{10} - \frac{8}{10})$
 $= -\frac{7}{10}$

(12) $(-\frac{1}{8}) - (-\frac{5}{6})$
 $= (-\frac{3}{24}) + (+\frac{20}{24})$
 $= +(\frac{20}{24} - \frac{3}{24})$
 $= +\frac{17}{24}$

(13) $(-4) - (+15) - (-9)$
 $= (-4) + (-15) + (+9)$
 $= (-19) + (+9)$
 $= -(19-9)$
 $= -10$

(14) $(+12) + (-3) - (+6) - (-1)$
 $= (+12) + (-3) + (-6) + (+1)$
 $= (+13) + (-9)$
 $= +(13-9)$
 $= +4$

慣れてきたら、()のない式にしてから

たし算!! 計算すると速い!!

① (1) $32-47=-15$ (2) $-14+22=8$

(3) $-28-72=-100$ (4) $47-32=15$

(5) $-36+18=-18$ (6) $-35+35=0$

(7) $-3.3-4.7=-8$ (8) $-3.9+6.4=2.5$

(9) $-1.2+1.2=0$ (10) $-\frac{7}{9}-\frac{5}{9}=-\frac{12}{9}=-\frac{4}{3}$

(11) $\frac{8}{10}-\frac{15}{10}=-\frac{7}{10}$ (12) $-\frac{3}{24}+\frac{20}{24}=\frac{17}{24}$

(13) $-4-15+9$
 $= -19+9$
 $= -10$

(14) $12-3-6+1$
 $= 13-9$
 $= 4$

② (1) $20 - (-13)$
 $= 20+13$
 $= 33$

(2) $-11+5$
 $= -6$

(3) $-7.8+4.8$
 $= -3$

(4) $-6.3-1.8$
 $= -8.1$

(5) $\frac{2}{3} - \frac{5}{8}$
 $= \frac{4}{6} - \frac{5}{6}$
 $= -\frac{1}{6}$

(6) $-\frac{5}{7} - (-\frac{3}{4})$
 $= -\frac{20}{28} + \frac{21}{28}$
 $= \frac{1}{28}$

(7) $-8+7-9$
 $= -17+7$
 $= -10$

(8) $-16 - (-14) + 8$
 $= -16 + 14 + 8$
 $= -16 + 22$
 $= 6$

(9) $24-15-22+13$
 $= 37-37$
 $= 0$

(10) $12+(-31)-45-(-31)$
 $= 12-31-45+31$
 $= -33$

③ aが正の数, bが負の数
 いづれでも成り立つ関係を調べるには、
 たとえば $a=2, b=-1$ のとき どうか
 ときどきOK! 調べればいい。

(ア) $a+b = 2+(-1) = 1$ 、0でない。X

(イ) $a-b = 2-(-1) = 2+1 = 3$ で正の数。O

(ウ) $a-b = 3$ で負の数でない。X

(エ) $3+a$ は $3+2=5$
 $3+b$ は $3+(-1)=3-1=2$ だから

$3+a$ は $3+b$ より小さくない。X
 (5) (2)

いづれでも成り立つのは、(イ)

(※ $a=2, b=-2$ とすると
 (ア)は $a+b = 2+(-2) = 0$ になるぞ。
 他の数字の場合も考えてみる必要がある)

P. 31

① (1) $(-3) \times 7 = -21$ (2) $(-6) \times 8 = -48$ (3) $(-12) \times 6 = -72$

P. 32

② (1) $5 \times (-6) = -30$ (2) $9 \times (-8) = -72$ (3) $10 \times (-10) = -100$

P. 33

③ (1) $(-4) \times (-9) = 36$ (2) $(-8) \times (-7) = 56$ (3) $(-10) \times (-10) = 100$

P. 34

④ (1) $(-18) \div 9 = -2$ (2) $21 \div (-3) = -7$ (3) $(-20) \div (-5) = 4$
 (4) $(-56) \div (-7) = 8$ (5) $15 \div (-21) = -\frac{5}{7}$
 (6) $(-45) \div (-60) = \frac{3}{4}$ 正÷負=負
 負÷負=正

NO. 5 1年教科書 解答

P. 35

5 (1) $0.5 \times (-3) = -1.5$ (2) $(-0.8) \times (-0.6) = 0.48$
 (3) $2.4 \div (-0.6) = -4$ (4) $(-0.4) \div 8 = -0.05$

6 (1) $\frac{6}{5} \times (-\frac{10}{3})$ (2) $(-\frac{2}{3}) \times (-\frac{11}{2})$ (3) $(\frac{8}{3}) \times \frac{1}{2}$
 $= -\frac{28}{5} \times \frac{10^2}{3} = \frac{2}{3} \times \frac{11}{2} = -\frac{48}{3} \times \frac{1}{2}$
 $= -4 = \frac{11}{3} = -\frac{4}{3}$

P. 36

7 (1) $-\frac{2}{5}$ の逆数は $-\frac{5}{2}$ (2) $-\frac{1}{6}$ の逆数は -6
 (3) -3 の逆数は $-\frac{1}{3}$ $-\frac{6}{1}$ とかかない
 $\hookrightarrow -\frac{3}{1}$ だから \rightarrow

P. 37

8 (1) $\frac{5}{7} \div (-15)$ (2) $(-\frac{2}{3}) \div \frac{1}{6}$ (3) $(-\frac{3}{8}) \div (-\frac{9}{16})$
 $= \frac{5}{7} \times (-\frac{1}{15}) = -\frac{2}{3} \times \frac{6^2}{1} = (-\frac{3}{8}) \times (-\frac{2^{16}}{9})$
 $= -\frac{1}{12} = -4 = \frac{2}{3}$

9 $\{3 \times (-4)\} \times (-5)$ $3 \times \{(-4) \times (-5)\}$
 $= -12 \times (-5) = 3 \times 20$
 $= 60 = 60$
 両方の結果は、等しい。

10 (1) $25 \times 11 \times (-4)$ (2) $(-2) \times 12 \times (-15)$
 $= 11 \times 25 \times (-4) = 12 \times (-2) \times (-15)$
 $= 11 \times (-100) = 12 \times 30$
 $= -1100 = 360$

P. 38

11 (1) $(-4) \times (-12) \times (-5)$ (2) $(-\frac{3}{5}) \times \frac{5}{6} \times (-3)$
 $= -4 \times 12 \times 5 = \frac{3}{5} \times \frac{5}{6} \times 3$
 $= -240 = \frac{3}{2}$
マ付息が3つだからマ付息 マ付息が2つだからマ付息 (おまけ)

P. 39

12 (1) $-12 \times (-5) \div 3$ $\div 3$ は $\div \frac{3}{1}$ だから $\times \frac{1}{3}$
 $= 12 \times 5 \times \frac{1}{3}$
 $= 20$

3つ以上のかけ算・わり算のポイント

- ① まず 答への符号が、プラスかマイナスか。
(偶数個ならプラス, 奇数個ならマイナス)
- ② \div は、逆数の \times にかえる。
 かけ算 かけ算
 または \div の次は下
 長〜い分数にして、分母と分子にねる。
(下と上)
- ③ 約分する。
- ④ 分母、分子を見おとさないように計算する。

完成!!

2年・3年でも大切

12 の(2)~(4)を2通りの方法でかきと、下のとおり!

すべてかけ算の形	長〜い分数の形
(2) $25 \div (-2) \times 4$ $= -25 \times \frac{1}{2} \times 4^2$ $= -50$	(2) $25 \div (-2) \times 4$ $= -\frac{25 \times 4^2}{2}$ $= -50$
(3) $(-\frac{3}{7}) \div 2 \div (-\frac{3}{4})$ $= \frac{3}{7} \times \frac{1}{2} \times \frac{4^2}{3}$ $= \frac{2}{7}$	(3) $(-\frac{3}{7}) \div 2 \div (-\frac{3}{4})$ $= \frac{3}{7 \times 2 \times 3} \times 4^2$ $= \frac{2}{7}$
(4) $(-\frac{7}{2}) \times (-6) \div (-\frac{3}{5})$ $= -\frac{7}{2} \times 6 \times \frac{5}{3}$ $= -35$	(4) $(-\frac{7}{2}) \times (-6) \div (-\frac{3}{5})$ $= -\frac{7 \times 6 \times 5}{2 \times 3}$ $= -35$

練習問題

① (1) $9 \times (-7) = -63$ (2) $(-5) \times 4 = -20$ (3) $(-15) \times 0 = 0$
 (4) $4 \times (-0.1) = -0.4$ (5) $(-0.3) \times (-0.2) = 0.06$ (6) $(-0.7) \times 10 = -7$

② (1) $32 \div (-4) = -8$ (2) $(-8) \div 8 = -1$ (3) $(-45) \div (-9) = 5$
 (4) $(-6) \div 0.3 = -20$ (5) $0 \div (-3.1) = 0$ (6) $(-0.3) \div 6 = -0.05$

③ (1) $(-\frac{2}{3}) \times (-\frac{3}{4}) = \frac{1}{6}$ (2) $\frac{4}{15} \div (-\frac{2}{5}) = -\frac{2}{15} \times \frac{5}{2} = -\frac{2}{3}$ (3) $(-6) \div \frac{2}{3} = -6 \times \frac{3}{2} = -9$

NO. 6 1年教科書 解答

P. 39 つづき 練習問題

④ (1) $(-2) \times 27 \times (-5)$

$= \frac{2 \times 5 \times 27}{10}$

$= 270$

(2) ~ (8) は、2通りの方法でかきます!!

まず符号 → 分母・分子をわけて → 正しく約分!!

すべてかけ算

長〜い分数式

(2) $(-36) \times (-2) \div (-9)$
 $= -36 \times 2 \times \frac{1}{9}$
 $= -8$

$(-36) \times (-2) \div (-9)$
 $= -\frac{4 \times 36 \times 2}{9}$
 $= -8$

(3) $(-12) \div 4 \times (-8)$
 $= 12 \times \frac{1}{4} \times 8$
 $= 24$

$(-12) \div 4 \times (-8)$
 $= \frac{3 \times 2 \times 8}{4}$
 $= 24$

(4) $24 \div (-6) \div (-2)$
 $= \frac{24}{6} \times \frac{1}{2}$
 $= 2$

$24 \div (-6) \div (-2)$
 $= \frac{24 \times 2}{6 \times 2}$
 $= 2$ (← $\frac{2}{2}$ とか $\frac{2}{2} \times 2$)

(5) $(-\frac{1}{3}) \times (-\frac{3}{2}) \times (-\frac{5}{6})$
 $= -\frac{1}{3} \times \frac{3}{2} \times \frac{5}{6}$
 $= -\frac{5}{12}$

$(-\frac{1}{3}) \times (-\frac{3}{2}) \times (-\frac{5}{6})$
 $= -\frac{1 \times 3 \times 5}{3 \times 2 \times 6}$
 $= -\frac{5}{12}$

(6) $\frac{1}{2} \times (-\frac{4}{3}) \div \frac{4}{9}$
 $= -\frac{1}{2} \times \frac{4}{3} \times \frac{9}{4}$
 $= -\frac{3}{2}$

$\frac{1}{2} \times (-\frac{4}{3}) \div \frac{4}{9}$
 $= -\frac{1 \times 4 \times 9}{2 \times 3 \times 4}$
 $= -\frac{3}{2}$

(7) $(-\frac{7}{4}) \div \frac{14}{15} \times (-\frac{4}{5})$
 $= \frac{7}{4} \times \frac{15}{14} \times \frac{4}{5}$
 $= \frac{3}{2}$ (0.3 = $\frac{3}{10}$)

$(-\frac{7}{4}) \div \frac{14}{15} \times (-\frac{4}{5})$
 $= \frac{7 \times 15 \times 4}{4 \times 14 \times 5}$
 $= \frac{3}{2}$

(8) $\frac{3}{5} \div (-0.3) \div (-\frac{2}{3})$
 $= \frac{3}{5} \times \frac{10}{3} \times \frac{3}{2}$
 $= 3$

$\frac{3}{5} \div (-0.3) \div (-\frac{2}{3})$
 $= \frac{3 \times 10 \times 3}{5 \times 3 \times 2}$
 $= 3$

P. 40

① (1) $4^2 = 4 \times 4 = 16$ (2) $3^3 = 3 \times 3 \times 3 = 27$ (3) $2^5 = 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 = 32$

② (1) $(-3)^3 = -3 \times (-3) \times (-3) = -27$ (2) $-5^3 = -5 \times 5 \times 5 = -125$

(3) $-1.5^2 = -1.5 \times 1.5 = -2.25$

小数点の位置に気を付ける!

(4) $(-4)^2 \times (-7)$
 $= 16 \times (-7)$
 $= -112$

(5) $(-6^2) \div (-2)^3$
 $= (-36) \div (-8)$
 $= \frac{36}{8} = \frac{9}{2}$

P. 41

③ (1) $-4 - 6 \times (-3)$
 $= -4 + 18$
 $= 14$

(2) $3 \times (-7) - 9 \times (-8)$
 $= -21 + 72$
 $= 51$

(3) $5 \times (-12) + 14 \div 7$
 $= -60 + 2$
 $= -58$

(4) $10 \div (-5) - (-6) \times 2$
 $= -2 + 12$
 $= 10$

(5) $\frac{4 \times (-2) + (-3^2)}{-8 + (-9)}$
 $= \frac{-8 - 9}{-17} = \frac{-17}{-17} = 1$

(6) $(-2)^2 + 2^3 \div (-4)$
 $= 4 + 8 \div (-4)$
 $= 4 - 2 = 2$

④ (1) $-5 + (13 - 7) \div 3$
 $= -5 + \frac{6}{3}$
 $= -5 + 2 = -3$

(2) $7 - \{(-2)^2 - (9 - 14)\}$
 $= 7 - \{4 - (-5)\}$
 $= 7 - (4 + 5)$
 $= 7 - 9 = -2$

P. 42

⑤ $\{3 + (-4)\} \times (-5)$
 $= \{-1\} \times (-5)$
 $= 5$

$3 \times (-5) + (-4) \times (-5)$
 $= -15 + 20$
 $= 5$

両方の結果は等しい。

NO. 7 1年 教科書 解答

P. 42 のページ

練習問題

① (1) $(-3^2) \times (-2)^3 \left\{ \begin{array}{l} (-3^2) = (-3 \times 3) = -9 \\ (-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) = -8 \end{array} \right.$
 $= -9 \times (-8)$
 $= 72$

(2) $(-9)^2 \div (-3^3) \left\{ \begin{array}{l} (-9)^2 = (-9) \times (-9) = 81 \\ (-3^3) = -3 \times 3 \times 3 = -27 \end{array} \right.$
 $= 81 \div (-27)$
 $= -\frac{81}{27}$
 $= -3$

(3) $2 \times (-2) \div (-2^2) + (-2^2) = (-2 \times 2) = -4$
 $= 2 \times (-2) \div (-4)$
 $= \frac{2 \times 2}{4}$
 $= 1 \leftarrow \frac{1}{1}$ だから 1. $\frac{2 \times 2}{4} = 0$ とはいない

(4) $(-5) \div (-5)^2 \times (-25) + (-5)^2 = (-5) \times (-5) = 25$
 $= -5 \div 25 \times (-25)$
 $= \frac{5 \times 25}{25}$
 $= 5$

② (1) $-2 - 18 \div (-6)$ (2) $9 - (-13) + 7 \times (-8)$
 $= -2 + 3$ $= 9 + 13 - 56$
 $= 1$ $= -34$

(3) $-5 + (15 - 6) \div 3$ (4) $\{ 2 + (4 - 8) \} \times 3$
 $= -5 + 9 \div 3$ $= \{ 2 + (-4) \} \times 3$
 $= -5 + 3$ $= (2 - 4) \times 3$
 $= -2$ $= (-2) \times 3$
 $= -6$

(5) $8 \times (-2) - (-2^3) \left\{ \begin{array}{l} (-2^3) = (-2 \times 2 \times 2) = -8 \end{array} \right.$
 $= -16 - (-8)$
 $= -16 + 8$
 $= -8$

(6) $(-2)^3 - (3^2 - 5) \left\{ \begin{array}{l} (-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) = -8 \end{array} \right.$
 $= -8 - (9 - 5)$
 $= -8 - 4$
 $= -12$

③ (1) $12 \times (-\frac{1}{3} + \frac{3}{2})$
 $= 12 \times (-\frac{1}{3}) + 12 \times \frac{3}{2}$
 $= -4 + 18 = 14$

分配法則を使う!
 (2) $(-\frac{4}{9} + \frac{3}{2}) \times 28$
 $= -\frac{4}{9} \times 28 + \frac{3}{2} \times 28$
 $= -16 + 42 = 26$

P. 44

① たとえば $1 \div 2 = \frac{1}{2}$ のように、自然数にならないときもあるぞ、いつも自然数にならない

P. 46

② (ア) 18 の約数は 1, 2, 3, 6, 9, 18 (1 と 18 だけじゃない)
 (イ) 29 " は 1, 29 だから 素数
 (ウ) 33 " は 1, 3, 11, 33
 (エ) 41 " は 1, 41 だから 素数

(イ), (エ)

P. 47

③ (1) $2 \overline{) 20}$
 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 20} \\ \underline{2} \\ 0 \end{array}$
 素数 2 と 5 だ
 $20 = 2^2 \times 5$

(2) $2 \overline{) 54}$
 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 54} \\ \underline{4} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$
 $54 = 2 \times 3^3$

(3) $2 \overline{) 126}$
 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 126} \\ \underline{4} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$
 $126 = 2 \times 3^2 \times 7$

④ 6 の倍数は、 $2 \times 3 \times \square$ で表せるもの
 14 の倍数は、 $2 \times 7 \times \square$ "

(ア) $2^4 \times 7 = 2 \times 7 \times 2^3$

(ウ) $2^3 \times 3 \times 7 = 2 \times 3 \times 2^2 \times 7 = 2 \times 7 \times 2^2 \times 3$

(エ) $2 \times 3^2 \times 13 = 2 \times 3 \times 3 \times 13$

(オ) $2 \times 5 \times 7 = 2 \times 7 \times 5$

だから 6 の倍数は (ウ), (エ)

14 の倍数は (ア), (ウ), (オ)

⑤ 154 を素因数分解すると

$2 \overline{) 154}$
 $\begin{array}{r} 2 \overline{) 154} \\ \underline{4} \\ 11 \\ \underline{11} \\ 0 \end{array}$

$154 = 2 \times 7 \times 11$ とわかる。

$154 \times \square = 2 \times 7 \times 11 \times \square$

ここで $2 \times \square = 12$ になれば、

$154 \times \square = 12 \times 7 \times 11$ と表すことができ、
 12 の倍数となる。

$2 \times \square = 12$ より $\square = 6$ とわかる。

よって 6

NO. 8 1年教科書 解答

P. 48 練習問題

① (1) $2 \overline{) 378}$ ← 偶数だから 2でわる

$3 \overline{) 189}$
 $3 \overline{) 63}$
 $3 \overline{) 21}$
 7 ← 素数だから ストップ

$378 = 2 \times 3^3 \times 7$

(2) $2 \overline{) 420}$
 $2 \overline{) 210}$ ← 一の位が 0か5は、5でわる
 $5 \overline{) 105}$
 $3 \overline{) 21}$
 7

$420 = 2^2 \times 3 \times 5 \times 7$

ならば11買は、何でもOK!

(3) $3 \overline{) 693}$ ← 6も9も3も 3でわる

$3 \overline{) 231}$
 $7 \overline{) 77}$
 11

231も
 $2+3+1=6$
 6は3の倍数だから、
 もとの231は、
 3でわる!

各位の数の和が 3でわれば、もとの数は、3でわりきれぬ。
 $6+9+3=18$
 $18 \div 3 = 6$ だから
 693 は、3でわりきれぬ。
 知っている、便利かも!

$693 = 3^2 \times 7 \times 11$

② $540 \div \square = \triangle^2$ ($\Delta \times \Delta$ の形)

まず 540 を 素因数分解すると

$2 \overline{) 540}$
 $2 \overline{) 270}$
 $5 \overline{) 135}$
 $3 \overline{) 27}$
 $3 \overline{) 9}$
 3

$540 = 2^2 \times 3^3 \times 5$ になる。

「ある数の2乗」をヒントにすると

$540 = 2^2 \times 3^2 \times 3 \times 5$ とわかる。
 ここが大切
 $2^2 \times 3^2$
 $= 2 \times 2 \times 3 \times 3$
 $= (2 \times 3) \times (2 \times 3)$
 $= 6^2$ になる!!

というわけで、

$540 \div 15 = \frac{540}{15} = 2^2 \times 3^2 \times 3 \times 5 \div 3 \times 5$
 $= 2^2 \times 3^2$
 $= 6^2$ となり、問題

の条件にあう。

よって 求める数は 15

③ いくつかの数を、すべてわりきることができるといふことは、公約数。

その最も大きい数だから、最大公約数を考える。

右上へ

③のつぎ
 左下から

3つの数を
 それぞれ
 素因数分解
 すると

$3 \overline{) 336}$
 $2 \overline{) 112}$
 $2 \overline{) 56}$
 $2 \overline{) 28}$
 $2 \overline{) 14}$
 7

$7 \overline{) 770}$
 $2 \overline{) 110}$
 $5 \overline{) 55}$
 11

たとえば
 18と24の最大公約数を考えると
 $18 = 2 \times 3 \times 3$
 $24 = 2 \times 2 \times 2 \times 3$
 上のように素因数分解すると
 18と24の最大公約数は6とわかる。
 16と24と40の最大公約数は、
 $16 = 2 \times 2 \times 2 \times 2$
 $24 = 2 \times 2 \times 2 \times 3$
 $40 = 2 \times 2 \times 2 \times 5$
 だから、8とわかる。

素因数分解した式とくらべると

$336 = 2^4 \times 2 \times 2 \times 3 \times 7$
 $770 = 2 \times 5 \times 7 \times 11$
 $840 = 2^3 \times 2 \times 3 \times 5 \times 7$

3つとも ② × ⑦ があるから 14の倍数とわかる。

よって 求める数は、14

P. 50

① 3週目のもとの記録は、

44 42 57 50 52 だから

	月	火	水	木	金
50とのちがい	-6	-8	+7	0	+2

P. 51

② 50との平均は $\frac{-6 + (-8) + (+7) + 0 + (+2)}{5}$

$= \frac{-5}{5}$

仮平均

$= -1$

↓

というときは、本当の平均は、 $50 - 1 = 49$

49回

③

	1組	2組	3組	4組	5組
2バタ回数	(51)	40	(37)	55	(42)
仮平均のちがい	+6	(-5)	-8	(+10)	(-3)

1組のバタ回数には、 $45+6 = 51$
 2組のちがいは、 $40-45 = -5$
 3組の回数は、 $45-8 = 37$
 4組のちがいは、 $55-45 = +10$

ここから仮平均が $42 - (-3) = 45$ とわかる。

NO. 9 1年 教科書 解答

P. 51 つづき

4 ④の表は

	1組	2組	3組	4組	5組
回数	51	40	37	55	42
ちがい	+6	-5	-8	+10	-3

仮平均とのちがいを平均すると

$$\frac{6+(-5)+(-8)+10+(-3)}{5} = \frac{16+(-16)}{5} = \frac{0}{5} = 0$$

といふことは、本当の平均は、仮平均と同じで

45回

練習問題

①

150のちがい	月	火	水	木	金	土	日
	+7	-14	0	-8	+10	+23	+17

+をまよめ、-をまよめた方が、計算しやすい!!

150杯とのちがいを平均すると

$$\frac{7+10+23+17-14-8}{7} = \frac{57-22}{7} = \frac{35}{7} = 5$$

7 ← 分母を6にしない。7日間の平均だから7でわる

だから、売上数の本当の平均は、
 $150 + 5 = 155$ (杯)

7日間の総売上数は、

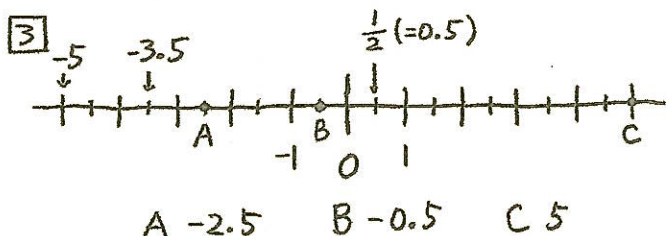
平均 × 日数で求めるとから $155 \times 7 = 1085$
 (7日間、毎日155杯) $\begin{matrix} 155 & \text{(杯)} \\ \times & 7 \\ \hline 1085 \end{matrix}$
 (うけたことと同じ)

よ2 平均155杯、総売上数1085杯

P. 52 章末問題

① (1) -8 (2) +15

② 整数 +5, 0, -7, 10
 自然数 +5, 10



④ (1) 6個少ない (2) 50円足りない
 " " " "
-6個多い -50円余る

⑤ -3の絶対値 → 3
 符号をひいた数 ↓

⑥ (1) $4 > -6$ (2) $-7 > -8$ (3) $-0.1 < 0$

P. 53

⑦ (1) $(-3)+(-7) = -3-7 = -10$ (2) $(-1.7)+(0.3) = -1.7+0.3 = -1.4$

(3) $(-\frac{1}{2})+(-\frac{1}{7}) = -\frac{7}{14}-\frac{2}{14} = -\frac{9}{14}$ (4) $(+5)-(+9) = 5-9 = -4$

(5) $(-2.2)-(-3.1) = -2.2+3.1 = 0.9$ (6) $(+\frac{2}{3})-(-\frac{3}{4}) = \frac{8}{12}+\frac{9}{12} = \frac{17}{12}$

⑧ (1) $-5+2 = -3$ (2) $-7-2 = -9$
 (3) $-9-6+2 = -15+2 = -13$ (4) $27+25+(-27)+(-24) = 27+25-27-24 = 52-51 = 1$

⑨ (1) $3 \times (-2) = -6$ (2) $(-8) \div (-2) = 4$
 (3) $(-1.6) \times (-0.2) = 0.32$ (4) $4.5 \div (-0.3) = -15$
 $\frac{1.6}{0.3} \times \frac{2}{2} = \frac{3.2}{0.3}$

(5) $(-\frac{21}{10}) \times \frac{5}{7} = -\frac{3}{2}$ (6) $(-\frac{4}{9}) \div (-\frac{4}{3}) = \frac{4}{9} \times \frac{3}{4} = \frac{1}{3}$

⑩ (1) $(-2) \times 6 \times 5 = -2 \times 5 \times 6 = -60$ (2) $(-\frac{1}{2}) \times 16 \times (-\frac{3}{4}) = 6$
2けたが222、322

(3) $(-48) \div 6 \times 4 = -\frac{48}{6} \times 4 = -32$ (4) $(-\frac{1}{6}) \div (-\frac{7}{24}) \div (-\frac{4}{7}) = -\frac{1}{6} \times \frac{24}{7} \times \frac{7}{4} = -1$

NO.10 1年 教科書 解答

P.53 つぎ 章末問題 つぎ

$(1) 3^4 = 3 \times 3 \times 3 \times 3 = 81$ $(2) (-6)^2 = (-6) \times (-6) = 36$
 $(3) -3^4 = -3 \times 3 \times 3 \times 3 = -81$ $(4) (-2)^3 \times 5 = (-2) \times (-2) \times (-2) \times 5 = -40$
 $(5) 6 - 12 \div (-3) = 6 + 4 = 10$ $(6) 6 - 3 \times (7 - 4) = 6 - 3 \times 3 = 6 - 9 = -3$

[12] (ア) 21の約数は1, 3, 7, 21だから素数でない
 (イ) 31の " は1, 31 だけだから素数
 (ロ) 41の " は1, 41 "
 (エ) 51の " は1, 3, 17, 51 だけだから素数でない
 (カ) $51 = 3 \times 17$ と計算できるけれど、
 これは、気がつきにくい。
 素数になるのは、(イ), (ウ)

P.54

学びを身につけよう

まちがえやすい問題が多い

[1] $(1) 7 - 25 = -18$ $(2) -6 - (-16) = -6 + 16 = 10$ $(3) -8.9 + 9.1 = 0.2$
 $(4) -2.4 - 3.4 = -5.8$ $(5) \frac{2}{3} + (-\frac{7}{4}) = \frac{8}{12} - \frac{21}{12} = -\frac{13}{12}$ $(6) -\frac{2}{5} + (-\frac{3}{5}) = -\frac{2}{5} - \frac{3}{5} = -\frac{5}{5} = -1$
 $(7) (-8) \times 12 = -96$ $(8) 0 \times (-27) = 0$ $(9) -1.2 \div (-0.4) = 3$
 $(10) 0 \div (-0.2) = 0$ $(11) \frac{2}{5} \times (-\frac{3}{4}) = -\frac{3}{10}$ $(12) (-\frac{8}{9}) \div (-\frac{2}{3}) = \frac{4}{3} \times \frac{3}{2} = \frac{4}{2} = 2$
 $(13) 3 + (-7) + 2 = 3 - 7 + 2 = 5 - 7 = -2$ $(14) -31 - (-18) + 16 = -31 + 18 + 16 = -31 + 34 = 3$

[1] つぎ

$(15) 0.4 + (-3.2) + 5.6 = 0.4 - 3.2 + 5.6 = 6 - 3.2 = 2.8$ $(16) -1.8 - 4.3 + 3.5 = -6.1 + 3.5 = -2.6$
 $(17) -\frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} = -\frac{6}{12} + \frac{4}{12} - \frac{3}{12} = -\frac{9}{12} + \frac{4}{12} = -\frac{5}{12}$ $(18) -5 - 2 + (-2) - 4 = -5 - 2 - 2 - 4 = -13$
 $(19) 3 + 7 - 15 - 6 + 2 = 12 - 21 = -9$ $(20) 18 - (-7) - 14 + (-7) - 18 = 18 + 7 - 14 - 7 - 18 = -14$
 $(21) 7 \div 35 \times (-25) = -\frac{7 \times 25}{35} = -5$ $(22) (-54) \div (-6) \div (-3) = -\frac{54}{6 \times 3} = -3$
 $(23) 18 \div (-\frac{9}{2}) \times (-\frac{5}{8}) = \frac{18}{1} \times \frac{2}{9} \times \frac{5}{8} = \frac{5}{2}$ $(24) -\frac{3}{8} \div \frac{1}{4} \div (-\frac{9}{5}) = \frac{3}{8} \times \frac{4}{1} \times \frac{5}{9} = \frac{5}{6}$
 $(25) (-4)^2 \times (-12) \div (-2)^4 = \frac{16 \times 12}{16} = 12$ $(-4)^2 = (-4) \times (-4) = 16$
 $(-2)^4 = (-2) \times (-2) \times (-2) \times (-2) = 16$
 $(26) (-5) - 70 \div (-14) = -5 + 5 = 0$ $70 \div 14 = \frac{70}{14} = 5$
 $(27) -59 + 6 \times (-7) - 32 = -59 - 42 - 32 = -133$
 $(28) 20 \times 3 - (-18 + 7) \times 5 = 60 - (-11) \times 5 = 60 + 55 = 115$
 $(29) \{1 + (0.6 - 1.5)\} \times (-0.1) = \{1 + (-0.9)\} \times (-0.1) = (1 - 0.9) \times (-0.1) = 0.1 \times (-0.1) = -0.01$

NO.11 1年 教科書 解答

P. 54 つづき

学びを身に付けよう

① つづき

(30) $(-4)^2 \times 5 - (-3^2)$ $\leftarrow (-4)^2 = (-4) \times (-4) = 16$
 $= 16 \times 5 - 1 \cdot 9$ $(-3^2) = (-3 \times 3) = -9$
 $= 80 + 9$
 $= 89$

(31) $25 \times (-14) + 75 \times (-14)$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{分配法則の逆} \\ \text{分配法則} \end{array} \right.$
 $= (25 + 75) \times (-14)$
 $= 100 \times (-14)$
 $= -1400$

(32) $(\frac{1}{4} + \frac{5}{6}) \times (-12) - (-13)$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \text{分配法則} \end{array} \right.$
 $= \frac{1}{4} \times (-12) + \frac{5}{6} \times (-12) + 13$
 $= -3 - 10 + 13$
 $= -13 + 13$
 $= 0$

②	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日
最高 (°)°C	9.2°C [-4.8]	ア°C [ア]	13.3°C [+4.2]	
最低 (カ)°C	イ°C [-2.5]	-1.2°C [-3]	エ°C [+5.6]	

3月5日の最高気温を(オ)°C
 最低"を(カ)°Cとする

・(ア)より4.2高いのが13.3だから
 $\underline{\underline{ア}} = 13.3 - 4.2 = 9.1$

・(イ) = $9.1 - 9.2 = -0.1$

・(イ)より3低いのが-1.2だから
 $\underline{\underline{イ}} = -1.2 + 3 = 1.8$

(オ) = $9.2 + 4.8 = 14$

・(エ) = $-1.2 + 5.6 = 4.4$

・(カ)より2.5低いのが
 (ク)の1.8だから
 $\underline{\underline{カ}} = 1.8 + 2.5 = 4.3$

よ2.

	(ア)	(イ)	
	3月7日	↓	3月8日
最高	14°C	9.2°C [-4.8]	9.1°C [-0.1]
最低	4.3°C	1.8°C [-2.5]	-1.2°C [-3]
		(ク)	(エ)
			4.4°C [+5.6]

3月5日の最高気温 14°C, 最低気温 4.3°C

P. 55

- ③ (1) 整数 21, -14, 13, 5
 (2) もっとも大きい数 24.2
 (3) もっとも小さい数 -16.2
 (4) 絶対値がもっとも小さい数 $-\frac{1}{100}$ \leftarrow 絶対値は $\frac{1}{100}$ (0.01)
 (5) 3乗すると負になる数 \leftarrow 負×負×負=負だから、
 負の数は、すべてあてはまるから、-0.2, -14, -16.2, $-\frac{1}{100}$
- (6) 素数 13, 5

④

9	-4	エ	カ
ア	3	4	キ
2	イ	0	5
-3	ウ	オ	-6

まず、ななめをたすと
 $9 + 3 + 0 - 6 = 6$
 た2.よこにななめが6
 だから

○イのよこの列で
 $2 + 0 + 5 + \underline{\underline{イ}} = 6$
 $7 + \underline{\underline{イ}} = 6$
 $\underline{\underline{イ}} = -1$

○カのななめの列で
 $-3 + \underline{\underline{カ}} + 4 + \underline{\underline{カ}} = 6$
 $0 + \underline{\underline{カ}} = 6$
 $\underline{\underline{カ}} = 6$

○オのた2の列で
 $\underline{\underline{オ}} + 4 + 0 + \underline{\underline{オ}} = 6$
 $-1 + \underline{\underline{オ}} = 6$
 $\underline{\underline{オ}} = 7$

○キのよこの列で
 $\underline{\underline{キ}} + 3 + 4 + \underline{\underline{キ}} = 6$
 $5 + \underline{\underline{キ}} = 6$
 $\underline{\underline{キ}} = 1$

○アのた2の列で
 $9 + 2 - 3 + \underline{\underline{ア}} = 6$
 $8 + \underline{\underline{ア}} = 6$
 $\underline{\underline{ア}} = -2$

○エのよこの列で
 $9 - 4 + \underline{\underline{エ}} + \underline{\underline{エ}} = 6$
 $11 + \underline{\underline{エ}} = 6$
 $\underline{\underline{エ}} = -5$

○ウのた2の列で
 $-4 + 3 + \underline{\underline{ウ}} + \underline{\underline{ウ}} = 6$
 $-2 + \underline{\underline{ウ}} = 6$
 $\underline{\underline{ウ}} = 8$

よ2

9	-4	-5	6
-2	3	4	1
2	-1	0	5
-3	8	7	-6

⑤, ⑥は 次のページ

学びを身につけよう

5 (ア) 10以下の自然数のうち、素数は2,3,5,7の4個
 ←1は、入れない
 これらの積 = $\underbrace{2 \times 3}_6 \times 5 \times 7 = 6 \times 5 \times 7$
 だから6の倍数

よって 正しい

(イ) 36の約数は、

1, 2, 3, 4, 6, 9, 12, 18, 36

この中で6の倍数は

6, 12, 18, 36の4個しかないから、

正しくない

(ウ) 素数と素数の積だから

たとえば $2 \times 3 = 6$ で、6は素数でないから

正しくない

(エ) 252を素因数分解すると

$$\begin{array}{r} 2 \overline{)252} \\ 2 \overline{)126} \\ 3 \overline{)63} \\ 3 \overline{)21} \\ 7 \end{array}$$

$$\begin{aligned} 252 &= 2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 7 \\ &= (2 \times 3) \times 2 \times 3 \times 7 \\ &\quad \text{6の倍数である。} \\ &= (2 \times 7) \times 2 \times 3 \times 3 \\ &\quad \text{14の倍数である。} \end{aligned}$$

よって 正しい

正しいものは、(ア), (エ)

6

	A	B	C	D	E	F
基準とのちがひ	+8	-7	+2	+12	-7	+10

基準とのちがひの平均は、

$$\begin{aligned} &\frac{8+2+12+10-7-7}{6} \\ &= \frac{32-14}{6} \\ &= \frac{18}{6} = 3 \end{aligned}$$

よって、基準+3=73 といふことから

$$\text{基準} = 73 - 3$$

$$= 70$$

よって 基準点は 70点